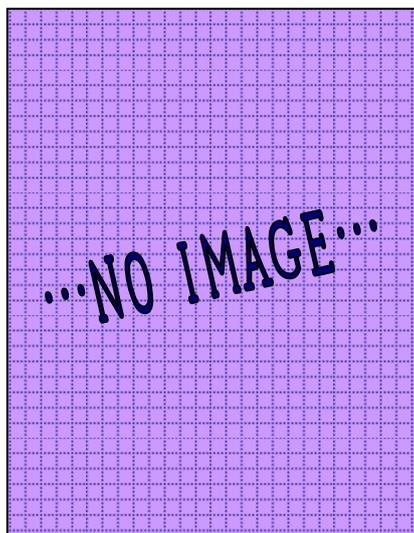


今回のおすすめメニュー



大人になってしまったものを
忘れてしまっただけですか？
探してみませんか？

『ミラクル』

辻 仁成 文
望月 通陽 絵
講談社

【所蔵館】 中央館・石川館・勝連館
【請求記号】 9137

ちょっと
あ・じ・み

ピアニストのシドは、死んだ妻が今も忘れられず、妻が残した一人息子・アルとすさんだ生活をおくっていた。アルは母親は生きていて、雪が降ったら帰ってくると信じていた。そして、30年ぶりに雪が降り…。優しい文と絵で贈るせつない物語。

年齢を重ねるにつれ子供のころの純粋な気持ちは失われていきますが、大人になるということはそんなに悪いことではない、そんなメッセージをこの本から感じました。あなたは、この本からどんなメッセージを感じますか？

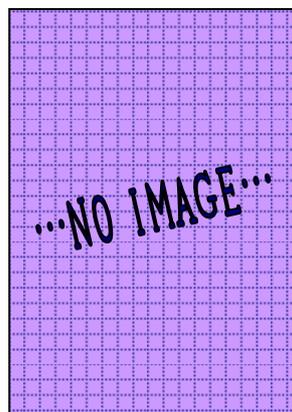


サイドメニュー

『星の王子さま』

サン＝テグジュペリ 作
内藤 濯 訳
岩波書店

【所蔵館】 中央館・石川館・勝連館
【請求記号】 953サ



「たいせつなことはね、
目には見えないんだよ…」

ちょっと
あ・じ・み

砂漠に不時着した飛行士と、ほんとうのことしか知りたがらない星の王子さまとのふれあいを描いた、生きる意味を問いかける永遠の名作。